

地区行動指針：「理念と実践 ～Think Next～」 クラブスローガン：「良いクラブ、魅力あるクラブ、参加してみたいくなるクラブ」

国際ロータリー第 2790 地区
第 3 分区 A
千葉西ロータリークラブ
WEEKLY COMMUNICATION

 創立 1976年1月20日 承認 1976年2月25日
 会長 大森 薫 幹事 野口アキ子
 例会場 千葉スカイウィンドウズ 東天紅 センシティタワー23階
 TEL 043-238-5555
 例会日 毎週火曜日 12:30～
 事務局 千葉市中央区新田町12-1 トーシン千葉ビル7階
 TEL 043-245-3202 FAX 043-245-7522
 E-mail : chibawestrc@wrpc.co.jp
 URL : http://www.chibawest-rc.net/

■ 会長挨拶 / 大森 薫 会長

皆さんこんばんは。本日は千葉西ロータリークラブの 2000 回記念・忘年家族例会に、お集まりいただきまして、ありがとうございます。

暮れの大変お忙しい中、ご来賓の皆様、近隣のクラブの皆様、そして会員のご家族・ご友人の皆様、日程にご都合をつけて戴き、ご参加いただきましたこと、心より感謝申し上げます。

本日は千葉西 RC が発足してから 2000 回目という節目の例会日にあたります。「2000 回目という例回」と「忘年家族例会」が重なっているのですが、これも非常に珍しく、「大変 おめでとう！」ことだと思えます。

今回、私が 2000 回目の例会を迎える会長になれたことは、本当に偶然で、「美味しいところ」だけを頂きまして、なんと！幸運な人間だな！と思えます。”心より感謝致します。” ” 皆さん、ありがとうございます。”

今回、2000 回例会を「形のあるものにしませんか！」というご提案を戴いたのは、本日、大勢のご家族で参加いただきました今年度プログラム委員長の ”飯高さん” からなのです。不覚にも私は、年度初めには、この例会回数を全く意識しておりませんでした。

この「2000 回という節目を祝う」ということで、プログラム委員会、親睦委員会、SAA 等々と多くの方達の「アイデアと協力」によりまして、このような素晴らしい例会を開くことができました。

千葉西ロータリークラブは、1976 年（昭和 51 年）1 月 20 日がスタートです。私が 43 代目の会長ですから、約 42 年の歳月が流れていますし、クラブの中でも昭和 51 年と言いますと、まだ生まれていない会員もいます。

では、どうしてこんなに続いたかと言いますと、それは「目に見えないクラブ内の信頼関係」があったということなのですが、その本質は「決して一人にはさせない！」ということだったと思っております。

ロータリーはどこのクラブも人間関係を非常に大切に考えます。特に千葉西 RC は、昔から「仲間への配慮・想いやりのあるかけ声」がありました。常に連絡を取って「みんなで一緒にやりましょう！時には一丸となって、奉仕活動を継続しましょう！」と言う「風土」がありました。

毎年！毎回！企画される事業を「あたりまえのように！」「事業の相手を気遣い、仲間に声をかけ！」「途中で事業を止めようという人もなく！」積み重ねてきたからではないかと思えます。

本日お越しのご家族の皆様、私達、千葉西ロータリークラブは、皆様のご家庭と全く同じです。「いつも一緒にいる／決して一人にはさせない！」という環境です。だから、続いてきたと私は思っています。「お互いに信頼し合って、支えあって、生きていこう！」としている人達が集まっているのだと思っております。

本日は、このことが「ご家族の皆さんと共に、改めて再確認」できれば、「大変素晴らしい、良き 2000 回例会」になるのではないかと思います。



あと数日で、2018 年という年をなりますが、お互いにこの素晴らしい関係を「より深く、より意義ある方向に発展」させていければ幸いです。

皆様のお席の前に 2000 回例会の記念の「おまんじゅう」が置いてあります。どうぞ、お持ち帰りいただき、この喜びを分かち合ってくださいと思います。

そして、これから、千葉西ロータリークラブの発足当時の 3 人のメンバー、佐藤貢さん、新井英次さん、黒川厚雄さんと、2000 回目の会長であります私と 4 人で、「お祝いの、くす玉割り」をしますので、皆様、一緒になって、カウントダウン方式で、「くす玉割り」にご参加下さい。

本日はお忙しい中、ご出席いただきまして、誠にありがとうございました。”皆さん！おもいっきり！楽しんで下さいね！” それでは SAA の誘導、よろしくお願ひします。